

銀の風

- 新病院建設
- 看護部
- DMAT 隊の紹介
- 出前講座
- のりこ's Kitchen
- 検査のおはなし
- 外来担当医一覧



大田市立病院 〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。 [大田市立病院](http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp) <http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp>

いよいよ新病院の建設工事が始まります！



(平成 29 年度開院を目指す新病院の鳥瞰イメージ図)

大田市立病院は、平成 29 年度のオープンを目指して病院建設を進めています。

平成 25 年度は、平成 24 年度に策定した新大田市立病院建設基本構想を基に、基本設計をおこないました。

新病院は現病院の東側に新病院棟、エネルギー棟、付属棟、院内保育所の4つの建物を計画しており、現病院は新病院完成後に解体し駐車場とします。(現在、受付等のある新館は残します)

新病院棟は地上5階建てで、1階には外来機能(救急含む)を中心にリハビリテーション室や売店・食堂

等を配置しています。2階には事務部門や医局、手術室等を配置し、3階から5階は病棟(全284床)としています。

本年度は、新病院用地の造成工事や未使用のスタッフ宿舍解体工事に着手するとともに、病院本体の実設計をおこないます。平成 27 年度からは本体工事に入り、平成 29 年度の開院を目指します。

工事期間中は、騒音や振動などでご迷惑をおかけしますが、皆様の安全確保を最優先して進めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。



看護の日開催



今年は5月9日に毎年恒例の看護の日のイベントが開催されました。

場所は健診センター、病院玄関前ロビーで行いました。健診センターでは、血圧測定・メタボチェック・ホットアロマコーナーを設けました。ホットアロマは肩や首をほぐすマッサージやハンドマッサージも取り入れ、心地よいラベンダーの香りや森林の香りを楽しみながら、くつろいでいただくことができました。今回は、より多くの方に体験してもらうために、ロビーで待っている方々へ出張アロマも考えています。



ロビーでは、塩分を多く含む食べ物の展示など、栄養士による栄養相談、食品サンプルのプレゼントもありました。

訪問看護の相談、看護部として、新人から3年目看護師のメッセージや病院の部署紹介のポスターなどが展示され、立ち止まり興味深くみておられる方もおられました。

たんぼぼ保育所の園児たちによるかわいい歌の発表の後、らとちゃんも登場するなど和やかな雰囲気となりました。

(看護部：三谷 好香)

DMAT (ディーマツト) (Disaster medical assistance team) (災害派遣医療チーム)

阪神大震災以後、多数傷病者が発生した際、発災後の48時間以内に機動性を持った医療チームが「防ぎえた災害死」を減らすことを目的に活動しています。この医療チームこそがDMATなのです。

私達は大田市立病院DMAT隊員となるため平成25年12月に兵庫県災害医療センターでとても厳しい凝縮された内容の研修を受講してきました。後日、厚生労働省より研修終了証書と日本DMAT隊員登録証が届き、福田正子(医師)・村田陽子(看護師)・澁谷みつえ(看護師)・西平守人(診療放射線技師)・中祖伸宏(事務)の5名がDMAT隊員となりました。

東日本大震災以降、DMATには超急性期だけでなく長期的な支援を含めた活動が要求



されています。今後は定期的な研修・訓練に参加し、有事の際に備えていきたいと思っています。なお、DMAT隊員

出動時には急な勤務交替や後方支援など病院をあげての対応になります。皆さんにはDMAT活動の意義・目的をご理解いただきご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

東日本大震災後3年が経過しました。時間が経てば災害を忘れてしまいがちですが、全世界のあらゆる所で災害が発生しています。最近では、防災はもとより減災が注目されるようになっていきます。各自が、有事を意識してどのようにしたら減災につながるのかを考えてみる必要があります。

(備えあれば憂いなしといいますが、いざいざはきません・・・)

少しでも災害医療やDMAT活動に興味を持たれた方はDMAT隊員に声をかけて下さいネ。

(DMAT隊員：澁谷 みつえ)

出前講座を呼んでみませんか？

住民のみなさんに健康や医療に関心を持っていただくとともに、当院について理解を深めていただくため、大田市立病院及び島根大学医学部大田総合医育成センターでは出前講座を開催しております。

40のメニューを揃え、医師、看護師をはじめ理学療法士、診療放射線技師、臨床検査技師と多職種にわたる講師陣が、様々な団体からの要望に応じて地元に出向きます。平成25年度は16回開催し、延べ396名のみなさまに参加いただきました。

会場からは毎回「風呂上りに冷水をあびてもいいか?」、「家族に紙おむつを使わせたいが、本人が拒否する場合はどうしたらいいか?」、「鼻血で救急車を呼んでもいいのか?」といった病院では気軽に聞けない質問が飛び出します。それに対して講師は通常の回答のほか“普段は言えないここだけのアドバイス”を返したり、時には答に窮したり…。そんな場面が参加者からは特に喜ばれます。

出前講座の開催によって参加者が講師に親近感を覚え、やがては住民のみなさんが市立病院を身近に感じてもらえることにつながれば幸いです。今年度は新たなメニューも加わり、いっそうの充実を図りました。みなさんも出前講座を呼んでみませんか？



参加者に呼びかける野宗大田総合医育成センター長

(大田総合医育成センター支援室：和田 二郎)



■材料 (5個分) ■

材料	分量
そうめん (ゆで)	100g
砂糖	小さじ1
片栗粉	大さじ1

調味液 A 分量

醤油	大さじ1
砂糖	大さじ1
片栗粉	大さじ1/2
水	1/2カップ

■作り方■

- ①密閉袋に余ったそうめん、砂糖、片栗粉を入れ、よくもむ。
- ②そうめんの形がなくなってきたら、電子レンジ(600W)で1分加熱する。
- ③加熱後、冷水で粗熱をとり、再び全体をよく混ぜ合わせるようにもむ。 *このとき団子状になる
- ④団子状になった③を好みの大きさに丸める。
*)水で手をぬらしながらだと、団子状に丸めやすい
- ⑤フライパンで表面に焼き色をつけ、いったん取り出す。
- ⑥調味液 A をすべて混ぜ合わせ、フライパンで加熱し、たれを作る。
- ⑦たれにとろみがついてきたら、団子にかけて完成。

余ってしまったそうめんが、あっという間に、おやつに大変身!!

(栄養管理科：濱本 能利子)

検査のおはなし vol.3

最近テレビ等でよく聞く【血管年齢】。実際に測定しているところをご紹介します。

まず機器をつけた状態の写真です。両手と両足に血圧計を巻き、心音計、心電図をつけ安静状態で測定します。結果は『動脈のつまりの程度』と『動脈の硬さの程度【血管年齢】』が表示されます。

それぞれ、正常範囲から外れると動脈のつまりや動脈硬化が考えられますので注意が必要です。簡単に測定できますので先生にお願いされて、可能であればチェックしてみたいはいかがでしょうか。

足に血圧計を巻くのは初めてでした！



正常です

検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 (CAV)	右	7.6	~8.9 (8.8±0.8)	血管の硬さは90代後半に相当します。
	左	7.5		
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.11	0.90~1.29	正常範囲です。
	左	1.19		正常範囲です。

CAV-年齢グラフ

検査の結果はいかがでしたか

異常ありです！
要注意!!

検査目的	項目	測定値	標準値	検査結果
動脈の硬さの程度 (CAV)	右	10.9	~8.9 (10.0±0.8)	血管の硬さは90代以上に相当します。
	左	15.6		
動脈の詰りの程度 (ABI)	右	1.06	0.90~1.29	正常範囲です。
	左	0.80		閉塞または狭窄の可能性がります。

CAV-年齢グラフ

検査の結果はいかがでしたか

(臨床検査科：原 美和子)

外来診療一覧

平成 26 年 6 月 1 日現在

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

診療科	月	火	水	木	金	
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●		
	呼吸器内科					
	消化器科	●	●	●	●	
	循環器科				○	○
	メンタルヘルス科		○			
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●		●	●	●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●		
	整形外科	● ※1		● ※1		● ※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	● ※2	●	●	●	●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	●
	ペインクリニック	●		●	●	●
眼科	● ※3				● ※3	
耳鼻咽喉科	● ※4		● ※5	●		
総合診療科		●				
専門外来	リウマチ外来		○			
	腎臓内科	● ※6				
	ペースメーカー外来					○
	小児神経外科				○	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診		○			
	予防接種					○
	腫瘍外来			○		
緩和ケア				○		

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 予約券をお持ちの方は8:30~15:30 初診の受付を制限する場合があります
- ※2 13:15~15:00 (診療は第2・5週となります)
- ※3 初めて受診される方は8:30~10:30
- ※4 診療は第3週のみとなります
- ※5 初めて受診される方は13:45~15:30、予約券をお持ちの方は13:45~16:00
- ※6 13:00~16:00

編集後記

病院広報紙も3号目の発行となりました。「やれることを、やれるときに、やれるだけ。」そんなひとつひとつが、こうして形になっていく喜びは必ずこれからの一人ひとりの成長につながっていくと思います。病院ロゴマークの大きな文字は中心をさわやかな緑の風がそよいでいるかのように見えるのは私だけでしょうか。これからもこの広報紙「銀の風」が病院と地域をつなぐ風となるよう発展させていきたいと思っています。

(編集委員 G)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL 0854-82-0330

FAX 0854-84-7749